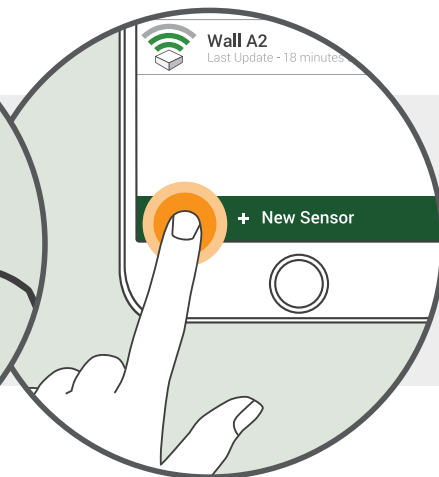
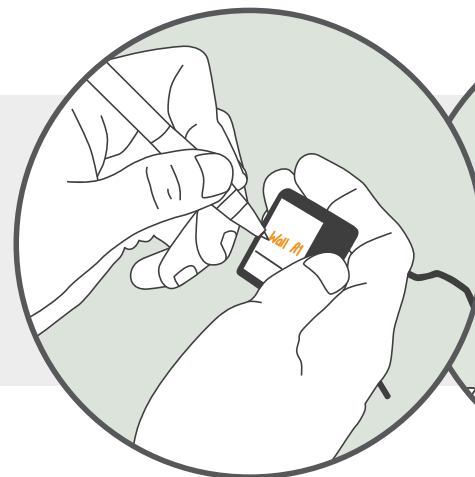
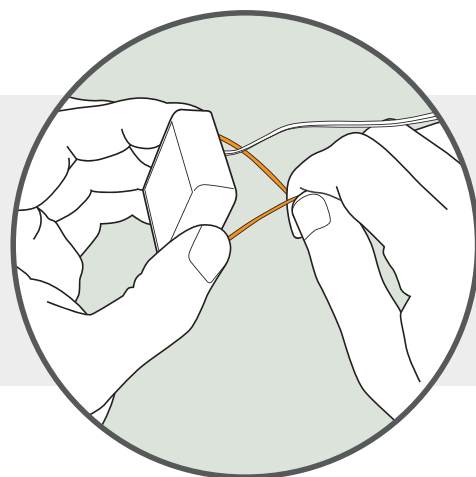


事務所内作業



1 SmartRock2 専用アプリをダウンロードします

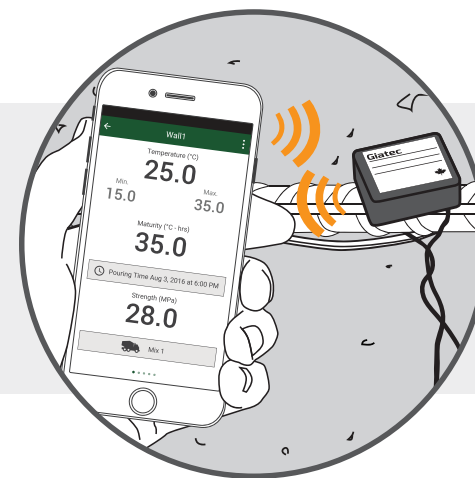
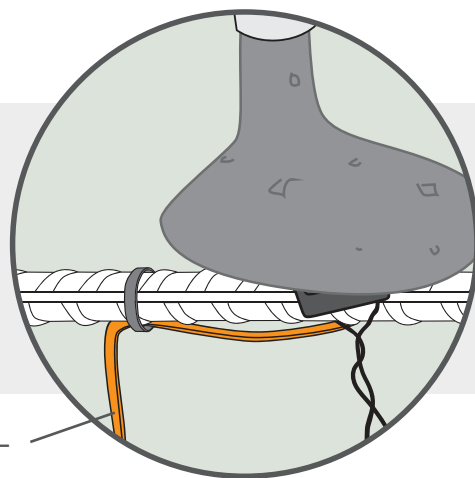
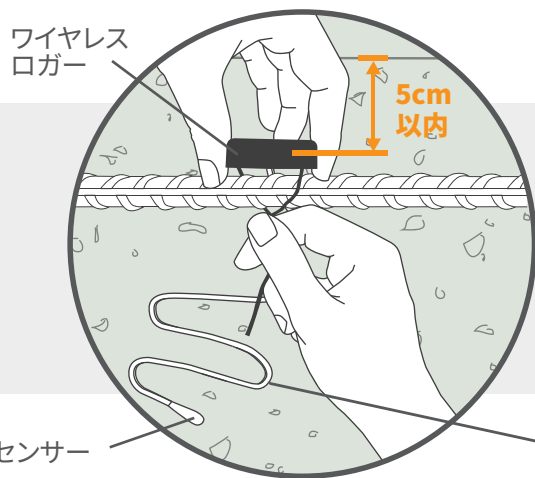
2 センサーの電源を入れます

3 センサーを登録します

本体の2本のワイヤーが電源スイッチです。まず2本のワイヤーを絡ませて本体の電源をONにします。

専用アプリにセンサーを登録し(取説参照)、登録したセンサー名をセンサーのラベルに記載します。

現場作業



4 センサーの設置

5 ケーブルの保護

6 センサーを読み込みます

2本の金属ワイヤーを図のように巻き付けてセンサー本体を鉄筋に固定します。

ワイヤレス信号の検知範囲を最大限にするためには、センサー本体(送信器)をコンクリート表面から5cm以内に設置してください。これによって特に材齢初期におけるセンサーの検知範囲を広げることができます。

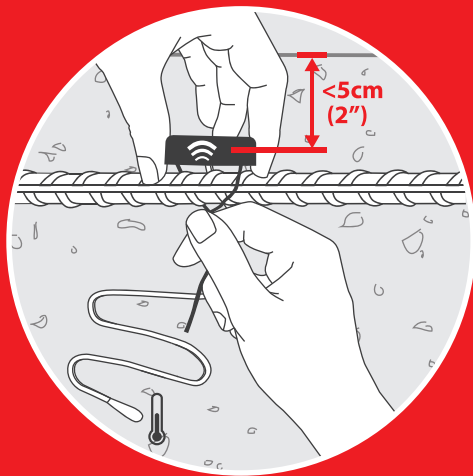
ケーブルは、コンクリート打設時に直接当たらないように保護するため、鉄筋の下に保護するように設置してください。

コンクリート打設・・・

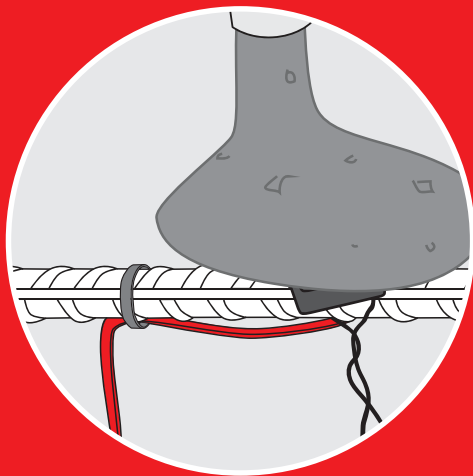
コンクリート表面5cm以内に設置したセンサーであれば、最大8mまでBluetoothで接続可能です。専用アプリは、リアルタイム温度、積算温度(マチュリティ)と圧縮強度のグラフなどが確認可能です。

本体センサーを鉄筋に取付ける前に、事務所であらかじめ一つずつ通信の有効・無効を確認し、それぞれにセンサー名を登録します。

IMPORTANT NOTE



ワイヤレス信号の検知範囲を最大限にするためには、センサー本体(送信器)をコンクリート表面から5cm以内に設置してください。



ケーブルの保護

ケーブルは、コンクリート打設時に直接当たらないように保護するため、鉄筋の下に保護するように設置してください。